

弊社総代理店：米国 LakeShore 社の歴史と  
出展予定学会・展示会中止のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。  
さて、新型コロナウイルス感染拡大の影響から様々な学会、展示会が中止となり、ご出張、外出を見合わせていらっしゃるお客様も多数おられることかと思えます。弊社もお客様の元へお伺いするのは極力控えさせていただき、テレワークも交え PC の前に腰を落ち着けて、普段は中々手が回らない作業などを行っております。直接お会いできない分、ご返信やご連絡でお待たせしないよう努めておりますので、測定でお困りのことがあればいつでもお問合せください！  
Web 会議でのお打ち合わせも承ります。

今月号では、いつもの製品紹介はお休みし、低温・磁気測定でおなじみの米国 Lake Shore 社の歴史をご紹介します。

// 目次 //////////////////////////////////////

- [ 1 ] 弊社総代理店、米国 Lake Shore 社の歴史
- [ 2 ] 出展予定学会・展示会中止のお知らせ
- [ 3 ] 年度末キャンペーン最終のご案内
- [ 4 ] あとがき

// //////////////////////////////////////

1 | 弊社総代理店、米国 Lake Shore 社の歴史

米国オハイオ州コロンバスにある Lake Shore 社は、現在 100 名以上の社員が働いており極低温機器のメーカーとしては非常に大きな会社となりましたが、50 年前はとて小さな小さな会社でした。

登場するのはシュワルツ兄弟、兄の名はデイビッド、弟の名はジョンと言います。彼らはドイツからの移民の子孫で、ご両親は農業を営んでいました。弟のジョンは大学卒業後、希望する大学院への進学を経済的な理由から諦め陸軍に入りま

した。

米国では陸軍に所属すると、給料を貰いながら大学院で勉強できるプログラムがありそのプログラムを利用して勉強を続けました。

そんな兄弟は 1967 年、温度センサーを製造・販売する会社を立ち上げました。その場所がエリー湖の畔だったので、兄弟は会社の名前を「Lake Shore」と名付けました。最初に販売を始めたのは「TG-100」というガリウムヒ素ダイオードセンサーでしたが、思うように販売数は伸びず初年度は 5,000 ドル程の売上しかありませんでした。

陸軍退役後に大学教員となったジョンは、昼間は教鞭を取り、夜は明け方まで、自社のセンサーの校正データを計算するという日々を過ごしました。学内ではスペースが限られるためセンサーの組立は自宅の地下室を利用し、温度校正は学生にアルバイト代を出して手伝ってもらいました。

こうした努力の結果、このセンサーは優れた工業製品に与えられる「IR100」という賞を受賞しました。

この受賞もあり、1971 年になると売り上げは 72,000 ドルに増えました。1973 年になるとシリコンダイオードセンサー、キャパシタンスセンサー、カーボングラスセンサーが製品ラインアップに加わり、売上はさらに倍になりました。この年、ずっと家族経営を続けていた彼らは初めて従業員を 1 人雇い、その従業員は今も Lake Shore で勤務しています。

1975 年にはさらに白金とロジウム鉄センサーがラインアップに加わりました。

1987 年セラミックパッケージを開発して再度「IR100」を受賞しました。

それまで主流だったエポキシモールドのパッケージはトラブルが多く、セラミックパッケージの完成は低温研究において大きな進展でした。

その翌年、1988 年に東陽テクニカが日本における総代理店となります。

そして 1992 年、現在も多くのお客様にご愛顧いただいている Cernox センサーが発売となりました。

元々は日本の研究者が発明した、磁場や放射線の影響を受けにくい画期的なセンサーでした。

Lake Shore は遠く離れた日本の研究も見逃さずに、すぐにビジネスに結びつけることに成功したのです。

彼らの、常に新しい情報や技術を取り入れつつも慢心しないという姿勢を受け継ぎ弊社営業担当も皆さまのお役に立てるよう日々邁進する所存です！

▼ Lake Shore 製品はこちらから

<https://www.toyo.co.jp/material/contents/detail/LakeShore.html>

▼ 更にセンサーや消耗品はオンラインストアでも大好評販売中！

[https://www.material-store.toyo.co.jp/list.php?b\\_id=1](https://www.material-store.toyo.co.jp/list.php?b_id=1)

## | 2 | 出展予定学会・展示会中止のお知らせ

---

新型コロナウイルス感染拡大の影響から弊社が出展を予定していた下記学会・展示会が中止となりました。

■ 第 67 回応用物理学会春季学術講演会（会場：上智大学）

3月12日（木）～ 3月15日（日）

■ TECHNO-FRONTIER 2020 内モータ技術展（会場：幕張メッセ）

4月8日（水）～ 4月10日（金）

展示を予定しておりました製品についてはデモ機のお貸し出しも可能ですのでいつでもお問い合わせください。

▼ LakeShore 社製 M91 型ホール効果測定コントローラ

<https://www.toyo.co.jp/material/products/detail/M91.html>

▼ LakeShore 社製 F71 型ハイエンドテスラメータ

<https://www.toyo.co.jp/material/products/detail/F71.html>

▼ GMW Associates 社製 3480 型 2.0T 小型軽量・卓上電磁石

<https://www.toyo.co.jp/material/products/detail/id=11783>

▼ 東陽テクニカ社製 強誘電体特性評価システム FCE10 シリーズ

<https://www.toyo.co.jp/material/products/detail/FCE10>

## | 3 | 年度末キャンペーン最終のご案内

---

昨年 11 月より行っております年度末キャンペーンですが、いよいよ最終月となりました。まだまだ年度内納品が出来る製品を多数取り揃えております。急な設備の導入、備品の購入の際など、最後の最後まで東陽テクニカをお忘れなく、ぜひお声がけください。

▼ 年度末キャンペーン最終のご案内

<https://www.toyo.co.jp/material/contents/detail/campaign2019-4.html>

▼ オンラインストアでは納期確認&見積取得&注文も可能！

<https://www.material-store.toyo.co.jp/>

4 | あとがき

---

冒頭でも申し上げましたように営業担当は外出を控え、

社内や自宅で業務に励んでおります。

ただ、こんな時だからこそ、お客さまのために室内で出来ること、

例えば Web ページの改定やカタログ、マニュアルの整備などに努めています。

最近では研究者の皆さまも必要な計測機器の情報は、

まずは Web で検索という方も増えていると思います。

必要な情報をわかりやすく！をモットーにページ作成しておりますが、

こんな情報が知りたい！など、ご要望がございましたらお申し付けください！

皆さまのご期待に沿えるよう、さらなる改良に努めてまいります。

さて、本メールマガジン、物性チーム内、持ち回りで担当していると以前ご紹介しましたが、実は今回の配信で担当メンバーが1周いたしました！

皆さまの毎月のご愛読に心より感謝いたします。

(本社物性チーム7人+校正担当の私で毎月配信しております)

物性チームが取り扱っている製品は大変に幅広く、

毎月何を書こうか？と担当者と校正担当で思案しておりますが、

皆さまの知りたい情報は配信出来ているのかな？と気になっている今日この頃です。

来月号ではアンケートを実施したいと考えておりますので、

ぜひ、皆さまの感想をお寄せいただけますと幸いです！

それでは、また来月号（4月9日配信予定）でお会いしましょう！

---

◎ 本メールは、以下のお客様にお送りしております。

- ・ 弊社製品のユーザー様
- ・ 過去に弊社セミナーへお申し込み・ご参加をいただいた方
- ・ 弊社展示会ブースにお立ち寄りくださった方
- ・ 各種アンケートにご回答くださった方
- ・ Web サイトより会員登録やお問い合わせ、各種お申し込みをいただいた方

・弊社の担当者と名刺交換いただいた方

◎ 弊社の個人情報の取扱いについて

<https://www.toyo.co.jp/privacy.html>

---

◎ 今後、メール配信の停止をご希望のお客様はお手数ですが下記より  
お手続きをお願いいたします。

[https://www.toyo.co.jp/bussei/mail\\_kaijo](https://www.toyo.co.jp/bussei/mail_kaijo)

◎ メール配信先変更をご希望のお客様は

[material-dm@toyo.co.jp](mailto:material-dm@toyo.co.jp)（担当：伊豫田、立石）までご連絡ください。

◎ 本メールの内容に関するご意見・お問い合わせは下記メールアドレス  
または電話番号までご連絡ください。

---

■発行：株式会社東陽テクニカ 理化学計測部

■URL：<https://www.toyo.co.jp/material/>

■公式オンラインストア：<https://www.material-store.toyo.co.jp/>

■お問い合わせ先

TEL：03-3245-1103（直通） FAX：03-3246-0645

E-mail：[material-dm@toyo.co.jp](mailto:material-dm@toyo.co.jp)

---

(C) 2020 TOYO Corporation.